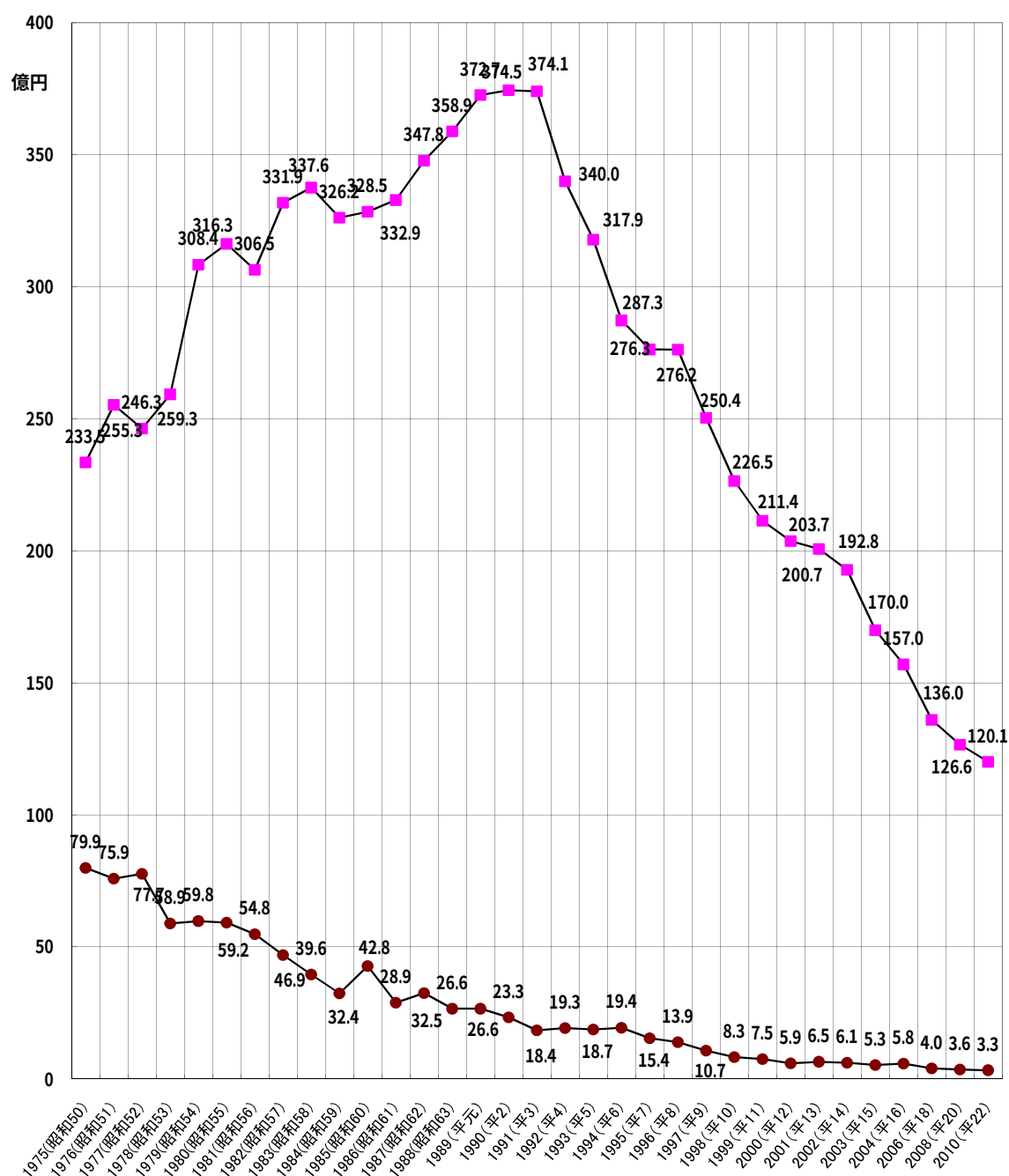


【銅・鉄器販売額の推移】

年	銅器 (非鉄合金含む)		鉄器	
	販売額 (千円)	前回比(%)	販売額 (千円)	前回比(%)
2003(平15)	17,004,411	-	526,729	-
2004(平16)	15,699,548	92.3	580,742	110.3
2006(平18)	13,596,361	86.6	401,727	69.2
2008(平20)	12,663,332	93.1	364,220	90.7
2010(平22)	12,008,207	94.8	325,866	89.5



【銅器品種別販売額】

品 種	2010年(平成22年)		2008年(平成20年)		前回比 (%)
	販売額(千円)	構成比(%)	販売額(千円)	構成比(%)	
神 仏 具	7,024,224	58.5	7,088,319	56.0	99.1
室 内 置 物	1,048,951	8.7	1,277,894	10.1	82.1
花 器	479,888	4.0	655,777	5.2	73.2
屋 外 置 物	494,470	4.1	542,066	4.3	91.2
香 炉	288,950	2.4	423,414	3.3	68.2
茶 道 具	168,727	1.5	226,275	1.8	74.6
そ の 他	2,502,997	20.8	2,449,587	19.3	102.2
計	12,008,207	100.0	12,663,332	100.0	94.8

※その他…文具・小物等、パネル、エクステリア製品等。

【鉄器品種別販売額】

品 種	2010年(平成22年)		2008年(平成20年)		前回比 (%)
	販売額(千円)	構成比(%)	販売額(千円)	構成比(%)	
室 内 置 物	124,182	38.1	184,298	50.6	67.4
文具・小物等	36,236	11.1	64,707	17.8	56.0
茶 道 具	6,852	2.1	12,970	3.5	52.8
そ の 他	158,596	48.7	102,245	28.1	155.1
計	325,866	100.0	364,220	100.0	89.5

※その他…花器、屋外置物、香炉、パネル等。

【銅器品種別販売額及び割合の推移】

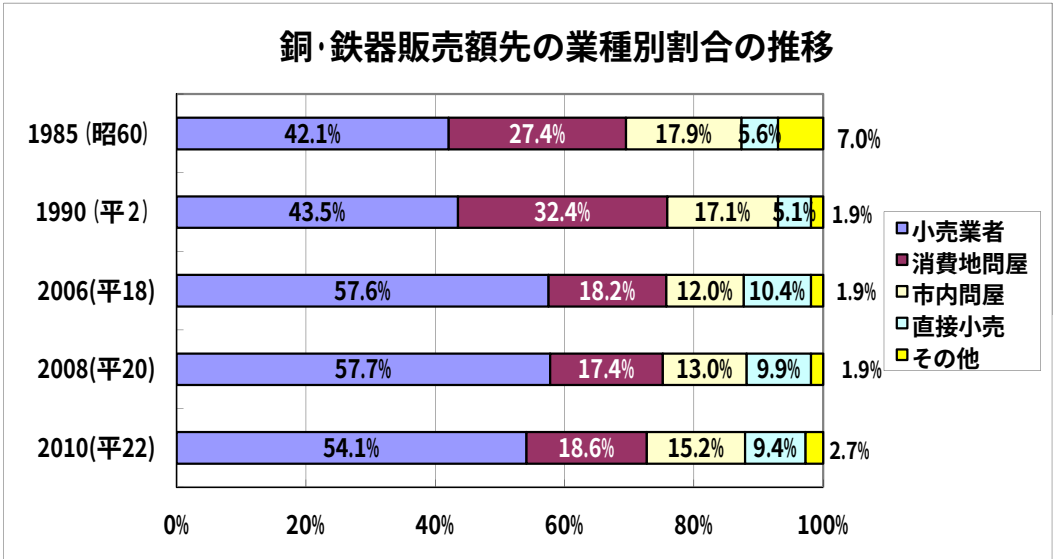
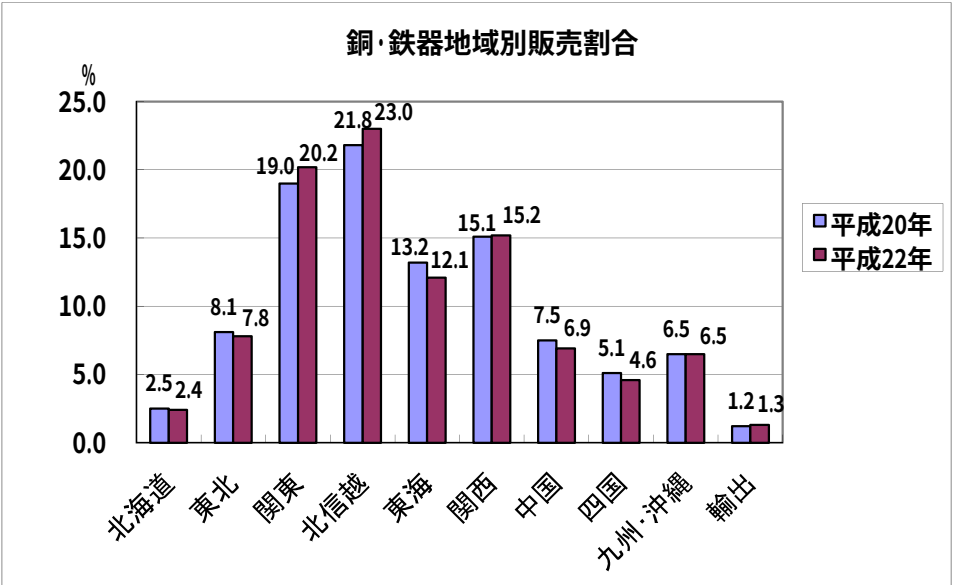
(単位: 億円)

	1985(昭60)		1990(平2)		2006(平18)		2008(平20)		2010(平22)	
	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比
神 仏 具	121.6	37.0%	143.8	38.4%	78.2	57.5%	70.9	56.0%	70.3	58.5%
室 内 置 物	58.5	17.8%	52.2	13.9%	13.7	10.1%	12.8	10.1%	10.5	8.7%
花 器	51.5	15.7%	61.6	16.4%	7.3	5.4%	6.6	5.2%	4.8	4.0%
屋 外 置 物	26.6	8.1%	38.5	10.3%	4.9	3.6%	5.4	4.3%	4.9	4.1%
香 炉	16.6	5.1%	17.7	4.7%	4.1	3.0%	4.2	3.3%	2.9	2.4%
茶 道 具	21.7	6.6%	25.3	6.8%	3.0	2.2%	2.3	1.8%	1.7	1.4%
そ の 他	32.0	9.7%	35.4	9.5%	24.8	18.2%	24.5	19.3%	25.0	20.8%
計	328.5	100.0%	374.5	100.0%	136.0	100.0%	126.7	100.0%	120.1	100.0%

【鉄器品種別販売額及び割合の推移】

(単位: 億円)

	1985(昭60)		1990(平2)		2006(平18)		2008(平20)		2010(平22)	
	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比
室 内 置 物	25.3	59.1%	12.3	52.8%	2.2	55.0%	1.8	50.0%	1.2	36.4%
文具・小物等	7.3	17.1%	4.9	21.0%	0.4	10.0%	0.6	16.7%	0.4	12.1%
茶 道 具	3.4	7.9%	3.0	12.9%	0.1	2.5%	0.1	2.8%	0.1	3.0%
花 器	1.7	4.0%	0.8	3.4%	0.0	0.0%	0.4	11.1%	0.4	12.1%
そ の 他	5.1	11.9%	2.3	9.9%	1.3	32.5%	0.7	19.4%	1.2	36.4%
計	42.8	100.0%	23.3	100.0%	4.0	100.0%	3.6	100.0%	3.3	100.0%



【鑄造法別事業所数と生産額】

○銅器

製法	2010年(平成22年)			2008年(平成20年)			前回比(%)	
	事業所数	年間生産額(千円)	構成比(%)	事業所数	年間生産額(千円)	構成比(%)	事業所数	生産額
生型	30	1,819,673	39.9	34	2,445,259	46.5	88.2	74.4
焼型	8	81,809	1.8	13	117,750	2.2	61.5	69.5
双型	6	394,929	8.7	6	422,815	8.0	100.0	93.4
ガス型	13	541,132	11.9	14	508,765	9.7	92.9	106.4
蝸型	2	7,000	0.2	2	7,000	0.1	100.0	100.0
ロストワックス	8	364,906	8.0	9	342,299	6.5	88.9	106.6
金型	3	320,659	7.0	6	311,150	5.9	50.0	103.1
その他	22	1,034,461	22.7	27	1,106,117	21.0	81.5	93.5
計	92	4,564,569	100	111	5,261,155	100	82.9	86.8

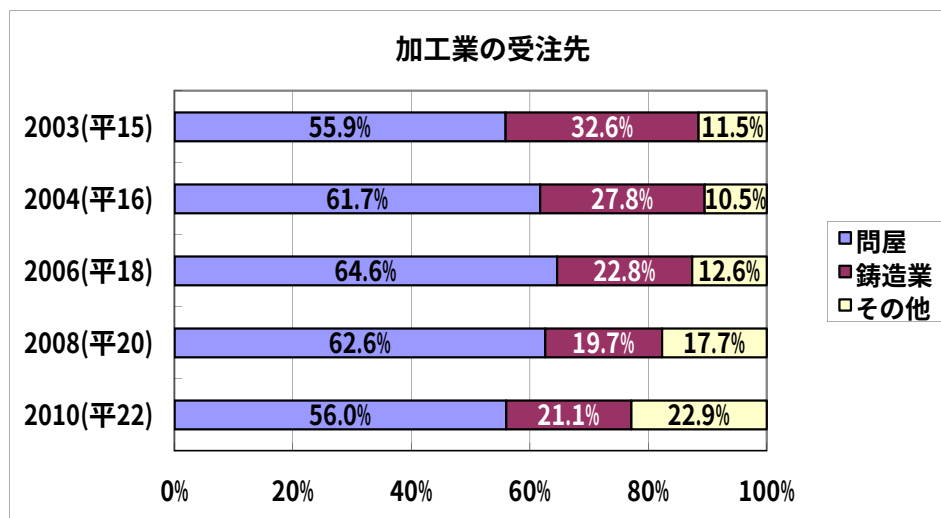
※同一事業所で複数の製法を行っている場合は、事業所数を重複して計上した。

○鉄器

製法	2010年(平成22年)			2008年(平成20年)			前回比(%)	
	事業所数	年間生産額(千円)	構成比(%)	事業所数	年間生産額(千円)	構成比(%)	事業所数	生産額
生型	3	57,720	64.8	3	60,553	72.9	100.0	95.3
双型	2	31,371	35.2	2	22,500	27.1	100.0	139.4
計	5	89,091	100.0	5	83,053	100.0	100.0	107.3

【加工工程別事業所数と加工額】

品種	2010年(平成22年)			2008年(平成20年)			前回比(%)	
	事業所数	加工額(千円)	構成比(%)	事業所数	加工額(千円)	構成比(%)	事業所数	加工額
溶接	4	17,834	2.5	5	22,916	2.9	80.0	77.8
研磨	24	143,791	19.9	26	157,328	20.1	92.3	91.4
彫金	22	50,307	7.0	22	62,463	8.0	100.0	80.5
着色	45	404,927	56.0	46	438,679	56.2	97.8	92.3
仕上げ	12	105,886	14.7	13	99,421	12.7	92.3	106.5
計	107	722,745	100.0	112	780,807	100.0	95.5	92.6



【事業所数と従事者数】

○問屋

	1985(S60)	1990(H2)	2006(H18)	2008(H20)	2010(H22)	前回比(%)
事業所数(社)	135	125	77	78	77	98.7
従事者数(人)	1,599	1,400	702	670	633	94.5

※()…アンケート回答社数 (58) (54) (50)

○鋳造

	1985(S60)	1990(H2)	2006(H18)	2008(H20)	2010(H22)	前回比(%)
事業所数(社)	164	151	83	79	79	100.0
従事者数(人)	1,750	1,573	760	712	624	87.6

※()…アンケート回答社数 (64) (55) (53)

	うち鉄器を扱う事業所	左のうち鉄器のみ
事業所数(社)	5	1
従事者数(人)	51	11

○溶接

	1985(S60)	1990(H2)	2006(H18)	2008(H20)	2010(H22)	前回比(%)
事業所数(社)	12	10	8	5	4	80.0
従事者数(人)	28	21	11	9	7	77.8

○研磨

	1985(S60)	1990(H2)	2006(H18)	2008(H20)	2010(H22)	前回比(%)
事業所数(社)	49	49	30	26	24	92.3
従事者数(人)	91	97	78	47	42	89.4

○彫金

	1985(S60)	1990(H2)	2006(H18)	2008(H20)	2010(H22)	前回比(%)
事業所数(社)	45	39	24	22	22	100.0
従事者数(人)	110	97	46	44	42	95.5

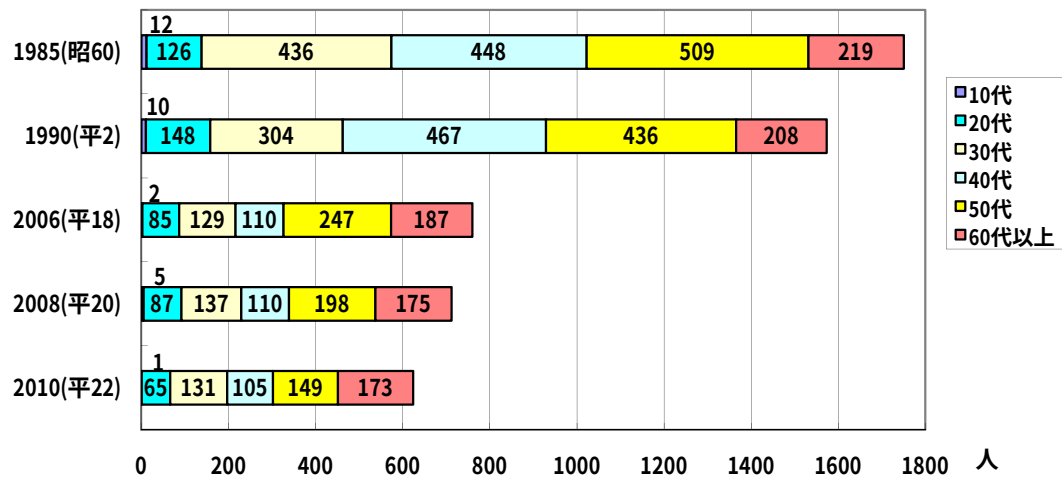
○着色

	1985(S60)	1990(H2)	2006(H18)	2008(H20)	2010(H22)	前回比(%)
事業所数(社)	76	69	52	46	45	97.8
従事者数(人)	410	367	200	132	122	92.4

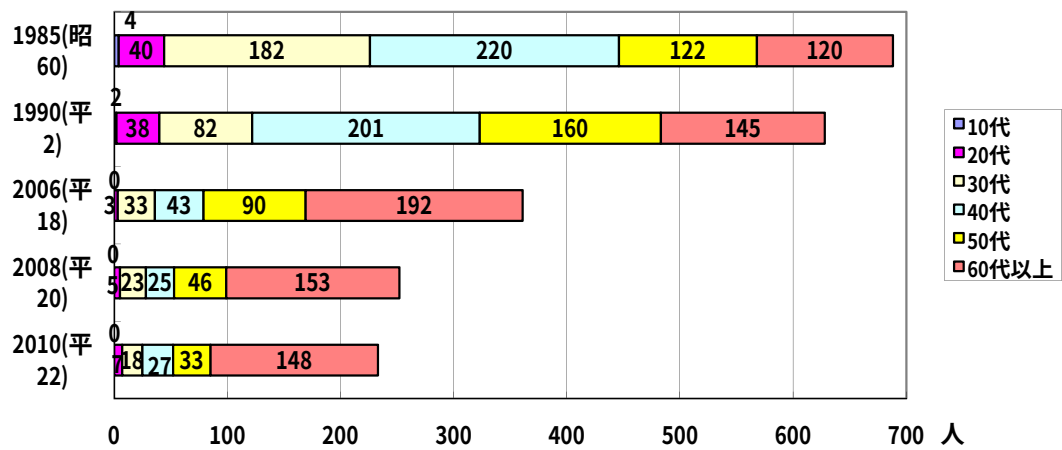
○仕上げ

	1985(S60)	1990(H2)	2006(H18)	2008(H20)	2010(H22)	前回比(%)
事業所数(社)	22	18	17	13	12	92.3
従事者数(人)	49	46	26	20	20	100.0

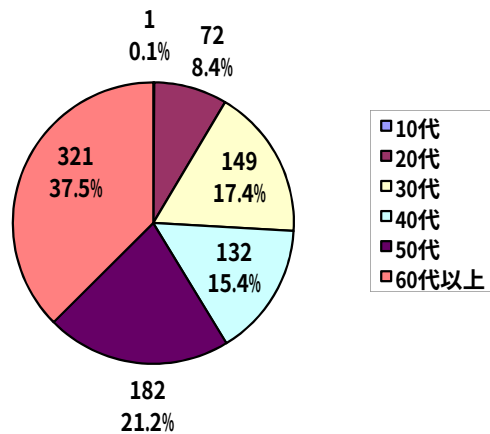
鑄造業従事者の年齢構成の推移



加工業従事者の年齢構成の推移

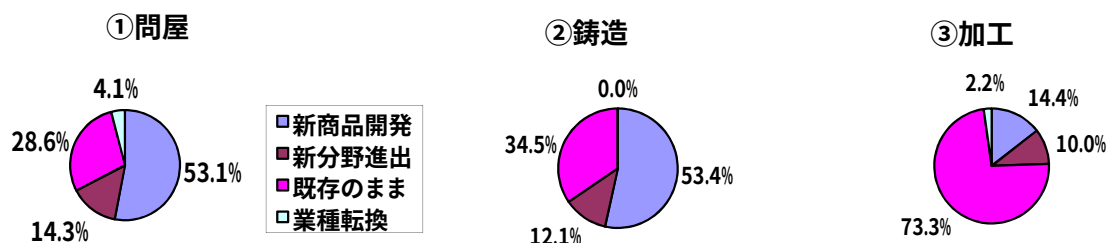


銅器製造及び加工業者の年齢構成



【意識調査について】

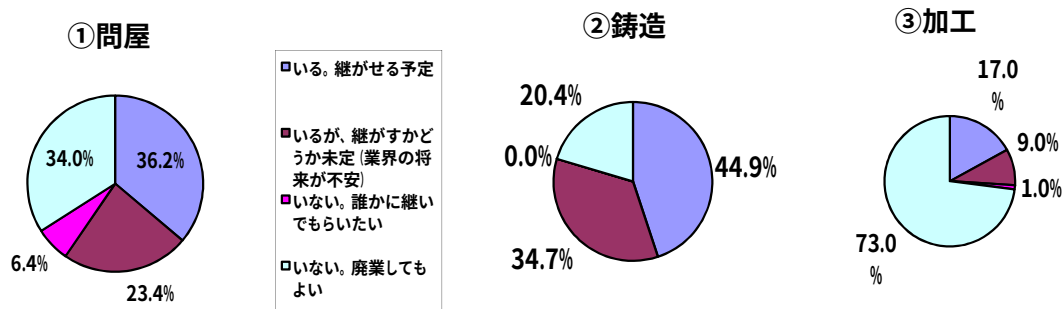
1 今後の方向性



問屋や鑄造業者については、「新商品開発を考えている」との回答割合が高い。販売額、出荷額の減少が続く中、海外市場への積極的な取り組みなど、新たなマーケットの開拓を視野に入れている事業者も少なくない。一方、加工業者は「既存のままでよい」との回答割合が7割以上と高い。高岡銅器の加工技術の高さは、高い評価を得ており、従来どおり自分の持つ技術・技法にこだわる事業者の姿勢がうかがえる。

なお、問屋、鑄造、加工業者ともに「業種転換を図る」と回答した事業者の割合は低い。銅器製造や取扱いを廃止し、休業・廃業している事業者が増加している。小規模事業者が多い市内の事業者にとっては、厳しい経営環境が続いているといえる。

2 後継者について



問屋や鑄造業者については、「後継者候補がいる」との回答が比較的高いが、後を継がせるかどうか未定の割合も同様に高くなっている。後を継がせようにも、業界の将来が不安で後を継いでほしいと言えない、という事業者の苦悩がうかがえる。

加工業者については、「自分の代で廃業しても良い」との回答が7割以上と非常に高い。これは、高齢化が進んでいること、受注が減少し改善が見られないこと、職人であるため定年制がないことなどが理由として考えられる。これまで培ってきた高度な伝統技術・技法を伝承していくため、早急な後継者対策が必要である。